

協会創立50周年のご挨拶



一般社団法人 横須賀三浦建設協会

理事長 金崎 富男

一般社団法人横須賀三浦建設協会 創立50周年を迎え、ご挨拶を申し上げます。

当協会は、昭和30年に前身である横須賀建設工連合会として、建設労働者の社会的経済的地位の向上を図ることを目的として発足され、翌年には「横須賀地区建設労働組合連合会」と改称し、昭和48年に社団法人横須賀三浦建設協会が設立されました。実に前身の時代も数えますと68年が経過することになります。

当初は連合会として5組合177名で結成されました。昭和33年には職業訓練が開始され、昭和43年には今の11組合すべてが加盟し、会員数は1,200名を突破しました。そのころから三浦半島地域の人口増加に伴う建築需要が盛んとなり、昭和52年には会員数が1,500名を超え、以後、協会も目覚ましい発展を遂げてまいりました。

そんな時代を経験し、私も職人という仕事に誇りと情熱を持っておりますが、同時に、建設業界が直面する多くの課題にも強く関心を持っています。

今や、建設業界は人口減少やコロナ禍の影響の資材不足など、新築住宅の需要が減少しています。その一方で、中古住宅のリフォームや修繕などの需要は高まっています。このような状況に対応するためには、伝統的な技術だけでなく、新しい素材や技法にも柔軟に対応できる技能力が求められます。また、建設業界は、高齢化や若者の入職難により、技能者不足が深刻化しています。特に、我々職人の伝統的職種は、後継者が不足が顕著で技術の継承が危ぶまれています。この問題を解決するためには、建設業界の魅力をアピールし、若者や女性、外国人材などを積極的に採用することが必要です。

そこで、私たち建設協会では、創立50周年を契機として、「地域社会に貢献する協会」「信頼される協会」「未来を拓く協会」を目指したいと思っております。

今後も地域建設業界のリーダーとして果敢に挑戦し続けてまいります。

最後になりますが、会員各位のご健勝・ご多幸にご祈念申し上げ、協会内外の皆様のさらなるご指導・ご鞭撻・ご厚情をお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

日本の確かな匠の技を、次世代につなげる。



衆議院議員（横須賀市・三浦市選出）

自由民主党神奈川県支部連合会会長
協会顧問 小泉 進次郎

横須賀三浦建設協会の創立50周年を心よりお慶び申し上げます。金崎富男理事長をはじめ会員の皆さま、半世紀という歴史を紡いでこられた全ての皆さまのご尽力に深く敬意を表します。私を顧問として仲間に入れていただき、日頃よりあたたかいご指導を賜っていることにも、厚く御礼申し上げます。

この50年間で、皆さまの仕事の環境も大きく変わったのではないのでしょうか。直近の3年間だけをみても、新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活を含めて多くの制約がありました。コロナ禍で多くの願いをせざるを得なかったことは、政府・与党の一員としてとても心苦しい日々でした。コロナ禍での3年間では、デジタル化が進んだという一面もあります。迅速なワクチン接種や支援金の給付などにつなげ、多くの命を守ることもできました。行政分野でのデジタル化はまだ改善の余地がありますが、横須賀市が全国に先駆けて、対話型の人工知能「ChatGPT」を試験導入するなど、少しずつでも変化が訪れている実感があるのではないのでしょうか。

一方でこれからも変わらないのは、私たちの生活に大工、造園、左官、板金、電気、表具、経師内装、石材、畳、建具、瓦屋根、鳶という皆さまの仕事は必要不可欠であり、豊かな経験に裏打ちされた日本のたしかな匠の技を、次世代につないでいくべきだということです。

日本全体で人口も減っていく中で、人工知能やテクノロジーを徹底的に活用しつつ、なくしてはいけない匠の技は必ず守る。これまで先人の知恵と技術をしなやかに受け継がれた皆さまとともに、私も国政の立場から後押しを続けてまいります。

コロナ禍との戦いはようやく終わりを迎え、これから新たな社会づくりへと進みます。経済と暮らしの立て直し、医療や福祉の充実、教育や子育て支援の拡充、外交力や防衛力の強化など、課題は山積しています。今後も皆さまのご支援を力に変えて、政治の役割を果たすべく全力を尽くしてまいります。

横須賀三浦建設協会のさらなるご発展と、皆さまの日々のご安全とご健勝を心よりお祈り申し上げます。次の100年に向けてともに前に進むことをお約束して、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

歴代理事長



初代会長 斎藤 喜久蔵
昭和30年12月～昭和39年3月



二代会長、初代理事長 三上 千代造
昭和39年4月～昭和49年5月
昭和49年6月～昭和54年3月



二代理事長 龍崎 久蔵
昭和54年4月～昭和57年5月



三代理事長 駒林 喜弘
昭和57年6月～昭和60年9月



四代理事長 田邊 敏
昭和60年10月～平成3年5月



五代理事長 田中 晴三
平成3年6月～平成9年5月



六代理事長 青木 明義
平成9年6月～平成15年5月



七代理事長 朝倉 輝充
平成15年6月～平成21年5月



八代理事長 櫻井 健治
平成21年6月～平成29年5月

第19期役員（令和3年度・4年度）



九代理事長
金崎 富男



副理事長（大工組合長）
杉山 幸保



専務理事
紙谷 保



常務理事
和田 英則



理事（造園組合長）
健保事業委員長
鈴木 伸夫



理事（左官組合長）
山本 晃



理事（板金組合長）
堀江 秀太郎



理事（電工組合長）
伊東 誠



理事（表具組合長）
産廃事業委員長
鈴木 浩



理事（石材組合長）
新倉 雅士



理事（畳組合長）
根本 国彦



理事（建具組合長）
古谷 和久



理事（瓦屋根組合長）
長島 直二



理事（神技連）
技術事業委員長
山田 広幸



理事（大工）
曾我 敏夫



監事
住宅相談運営委員長
芹澤 伸一



監事
大塚 幸男



税務事業委員長
後藤 浩一



防災事業委員長
近藤 好広



広報事業委員長
村田 勝



事業運営委員長
鈴木 俊充